

仕 様 書

1. 保守点検の目的

地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪国際がんセンターが保有する滅菌管理システムを常に正常な状態で作動することを目的とする。

2. システム名

鋼製器具管理 システム「SURGICAL BRAIN SYSTEM」(以下、「SBS システム」という。)

3. 履行期間

令和8年4月1日～令和9年3月31日まで

4. 物品設置場所

大阪市中心区大手前3-1-69

地方独立行政法人大阪府立病院機構

大阪国際がんセンター 4階中央滅菌室

5. 物品明細

SBS システム明細については、第6項に構成品、数量を記載する。

6. 保守点検業務

(1) 点検の実施

履行期間中に下記点検内容の項目を実施することとする。

(2) 点検内容

下記項目について点検を行うこと。

(保守履行期間内に1ヵ月に1回確認を行う項目)

① SBS サーバー 1台

点検確認用 LED の確認によるサーバー正常稼働状態の確認

② クライアント PC 8台

サーバー側からのネットワーク導通確認

③ ラベルプリンタ 2台

正常印刷状態の確認

④ 2次元リーダー 6台

起動・正常動作の確認

⑤ ハンディターミナル 17台

サーバー側からのネットワーク導通確認

⑥ レーザープリンタ 5台

印刷状態の確認

⑦ RFID ゲート

サーバー側からのネットワーク導通確認

(3) 保守バージョンアップ

SBS システムに含まれるソフトウェアの機能追加及びバグフィックスを行った際は適宜バージョンアップを実施するものとする。

(4) 運用サポート

12月30日（月）から1月4日（土）までおよび祝日を除く月曜から土曜までの9時から17時30分の期間で以下の対応を行うものとする。

- ① 電話、FAX、電子メールなどによる運用質問の対応
- ② リモート回線による不具合情報の収集、修正
- ③ 月1回での運用に関する連絡会議
- ④ 重要度に応じての翌日のオンサイト対応
- ⑤ 年間100本の鋼製器具への刻印対応

※100本を超過した場合は有償とする。

7. 報告書の提出

受注者は保守点検業務完了後、速やかに報告書を作成し、当センター担当者の確認を受け提出するものとする。

8. 個人情報の保護

受注者は業務上知り得た情報を第三者に漏らしたり、他の目的に使用してはならない。

9. セキュリティ

- (1) メンテナンス時にファームウェアのアップデートが可能な場合は行い、常に最新の状態を保つこと。また医療情報部へ詳細情報を報告すること。
- (2) 点検時に別紙「ウイルスチェック証明書」を施設保全Gへ提出すること。

10. その他

本仕様書に定めない事項については、その都度発注者及び受注者で協議し決定する。